



# マニュアル

～ ミツケルアートでより良いケアに繋げるために ～

## 完全保存版

ミツケルアート 映像版を導入されている事業所様へ  
映像版は紙版をベースに開発されたものです。映像  
版ご使用の際にも本マニュアルが参考になります。

🍀 お問い合わせ先 🍀

TEL 053-474-5717 (9時～19時 年中無休)  
shop@sprayart-xin.com (24時間受付)



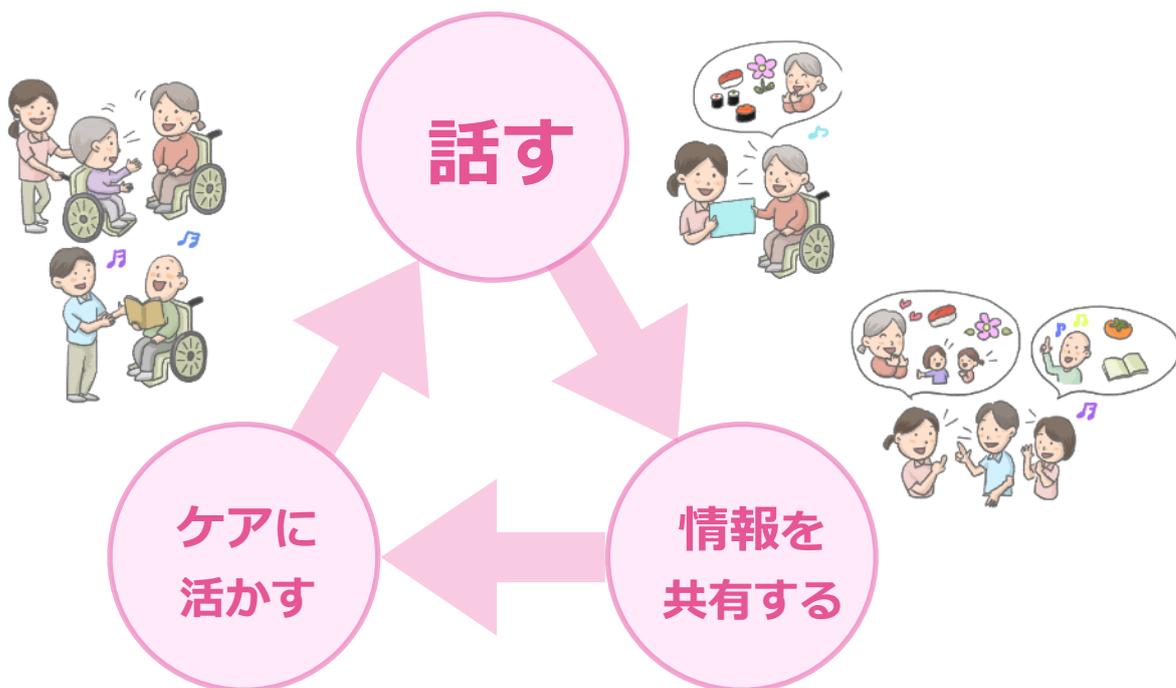
## このようなお悩みはありませんか？



- ✓ 利用者様との会話のきっかけがつかれない
- ✓ 話題が少なくて会話が続かない…
- ✓ 入浴やトイレ介助などを拒否される

ミッケルアートを通じて、  
この悩みを解決する方法をご紹介します。

## ～ ミッケルアートでより良いケアに繋げるために ～



この3ポイントを押さえて継続していくことが大切です。

# 1 ミッケルアートとは

## コミュニケーションツールです



絵をきっかけに、**利用者様の会話を引き出す**ことができます。

ミッケルアートには、紙版と映像版の2種類あります。

### ミッケルアート® 紙版



#### 特徴

- ・周辺症状に高い改善効果が期待できる。  
(エビデンスあり) →詳しくはP9
- ・絵の裏面に会話の見本があるため、苦手なスタッフ様でも使いやすい。
- ・1：10の人員配置で使用可能。
- ・認知症でない方～重度の方に有効。



### ミッケルアート® 映像版



#### 特徴

- ・業務負担の軽減と認知症予防効果が期待できる。
- ・スタッフ様はDVDを再生するのみ。
- ・導入時もスタッフ様の業務負担0。
- ・どなたでも楽しめる映像。
- ・認知症でない方～中度の方に有効。



※重度の方に効果が出た事例もあります。

## 2 ミッケルアート紙版の使い方



会話を広げる為に、**絵の裏面にはスタッフ様向けの声かけの見本**があります。その為、会話の苦手なスタッフ様でも使用しやすいコミュニケーションツールとしてご好評いただいております。

### 絵の裏面

#### STEP1 絵の中からミッケル

Q. ネコはどこにいますか？

#### STEP2 思い出をミッケル

Q. 昔、何人兄弟でしたか？

Q. 母の手料理は、何でしたか？

#### STEP3 やりたいことをミッケル

Q. 最近、食べたい物は、何ですか？

### 質問の意図

#### STEP1 絵の中からミッケル

絵の中に隠れている動物などを見つける質問です。  
注意・観察力を促すことができます。

#### STEP2 思い出をミッケル

「思い出を聞かせて頂く」という内容の質問を使うことで、思い出話をきっかけに会話が広がります。文章構成力を促すことができます。

#### STEP3 やりたい事をミッケル

やりたい事・食べたい物・行きたい場所を聞く事で、日々の声かけや活動内容、介護計画書の長期目標・短期目標に取り入れることができます。



### 手順1 絵を配ります

「昔のことを教えてください」と話しかけます。



### 手順2 話します(慣れてきたら約20分)

自然に話がはじまったら、話を聞き、話が止まった時に、裏面の質問を使います。

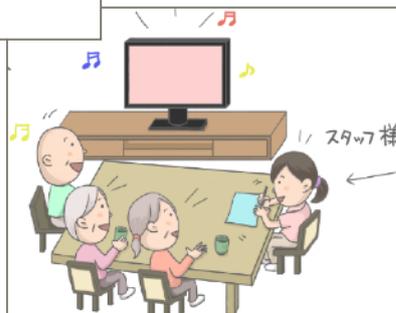
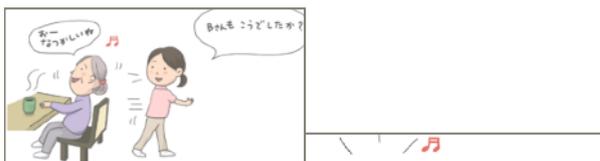


### 手順3 お礼を言います

「お話を聞かせて頂き、ありがとうございます♪」

## 2 ミッケルアート映像版の使い方

1 映像あたり30分の動画が収録されています。



### 手順1 映像を再生する

はじめに2分程、何気ない話をして場を温めることをオススメします。

### 手順2 さりげなく話しかける

何気ない会話をふる。映像を流しつつ、他の業務に取り掛かることもできる。

### 手順3 最後にまた話しかける

最後に、「いかがでしたか？」と話しかけると、話したかった利用者様の気持ちをスッキリする場に繋がります。

### 🌸 ここからがポイント♪

「お話できて楽しかった♪」で終わると、もったいないです！  
ミッケルアートを見ながら話した会話には、  
**好きな事・やりたい事・食べたい物・行きたい場所など、**  
**『ケアに活かせる情報』**があります。  
これらの情報は、日々のケアに活かすことができます♪



### 3 スタッフ同士で情報共有する方法



#### ① 情報を集めましょう



おにぎりの具は  
うめぼしが好き  
ひさしぶりに  
たべたい 🍱

会話のなかで気になったことをメモしておきましょう

#### ② スタッフ同士で情報共有しましょう



利用者様ごとにメモを貼る用紙などを作成し、ミッセルアートを使った後に貼ります

この用紙をA4ファイルなどに綴じて事務所に保管し、スタッフが必要な時に確認できるようにしておきましょう。特に気になった事や、やりたい事などの情報は、事業所内のミーティングの時に発表して共有しましょう。

#### ③ 『声かけ』や『活動』に取り入れてみましょう



##### <A様の活用事例>

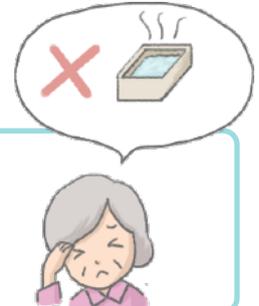
- ・昔の職業 学校の先生 ▶ 教えてくださいという姿勢
- ・得意な事 お裁縫 ▶ 日中の活動
- ・食べたい物 イチゴ ▶ 食事介助の時の話題
- ・好きな動物 ネコ ▶ 散歩の時の話題
- ・NGワード 亡くなられた息子様のお話

それでは、ケアに活かす方法を次ページで見ていきましょう

## 4 ケアに活かす手順

### 入浴介助 を拒否される利用者様の事例

最近、施設をご利用されたA様。他人に裸を見られるのが嫌なので、お風呂にお誘いしても断られてしまいます。



#### 話す



- ① ミッケルアートを通して、A様とコミュニケーションを図り信頼関係を深めます。  
会話の中から、好きな事・やりたい事などの情報を集めます。

#### 情報を共有する



- ② スタッフ同士で情報を共有します。

<A様>

- ・昔の職業 学校の先生
- ・やりたい事 お裁縫
- ・好きな動物 ネコ



#### ケアに活かす



- ③ 実際のケアの中で、『声かけ』や『活動』に取り入れます。

- ・日々の活動にお裁縫を取り入れてみます。
- ・先生をされていた方なので、「やり方を教えてください」と話し方を変えてみる。
- ・入浴の時には、「〇〇のお話をお風呂に入りながら、もう少し聞かせて頂けませんか？」とお誘いしてみる。

### 介助を拒否される利用者様への対応

スタッフ様との信頼関係が深まるにつれて介助に対す抵抗感が減ってきます。このように、ミッケルアートはご利用者様との自然な会話の促進・信頼関係の構築に役立てることができます。



## 5 周辺症状の改善事例

このように①話す ②情報を共有する ③ケアに活かす という3ポイントを継続していくと、その方に合った介助の提供が可能となり、周辺症状の改善・ケアの質の向上につなげることができます。

### ☘ 昼夜逆転のある方が、夜間に良眠できるようになりました。

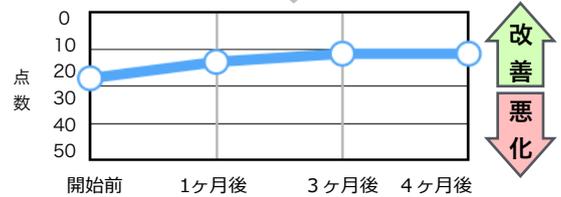


介護度5 アルツハイマー認知症  
認知症自立度 IV(実施前)→Ⅲb(後)  
寝たきり度 B2

#### ☀ 改善までの経緯

当初は、何事にも無関心であり日中に傾眠されることが多く見られていました。〈話す〉小学生が遊んでいる絵に興味を示されたため、昔の遊び道具をお渡しすると、懐かしそうに触ってじっと眺めていました。〈情報を共有する〉スタッフ間で情報を集め、共有し、〈ケアに活かす〉様々な遊び道具の使い方を説明して頂く習慣をつくりました。日中の活動に参加されるようになり、夜間の良眠に繋がっています。

周辺症状への効果を示すグラフです。※



(介護老人保健施設)

### ☘ 帰宅願望のある方が、集団活動に参加できるようになりました。

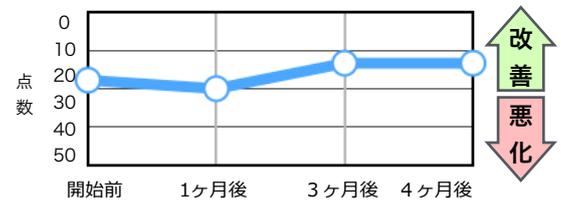


介護度3 脳血管性認知症  
認知症自立度 Ⅲa  
寝たきり度 A1

#### ☀ 改善までの経緯

当初は、午後4時頃からウロウロと歩かれる習慣がありました。〈話す〉午後3時からミッケルアートを行い、他の利用者様と会話することを促しました。〈情報を共有する〉会話の中から園芸が好きと分かったため、〈ケアに活かす〉日中の活動に他の利用者様と一緒にお花のお世話を担当して頂くことになりました。帰宅願望の背景には、子育てをされていた時代が蘇っているようです。利用者様にとって楽しい思い出であるため、散歩の際にたくさんお話し頂く機会をつくりました利用者様に合わせた活動を提供し、帰宅願望の背景に合わせたケアを行うことで改善に繋がっています。

(グループホーム)

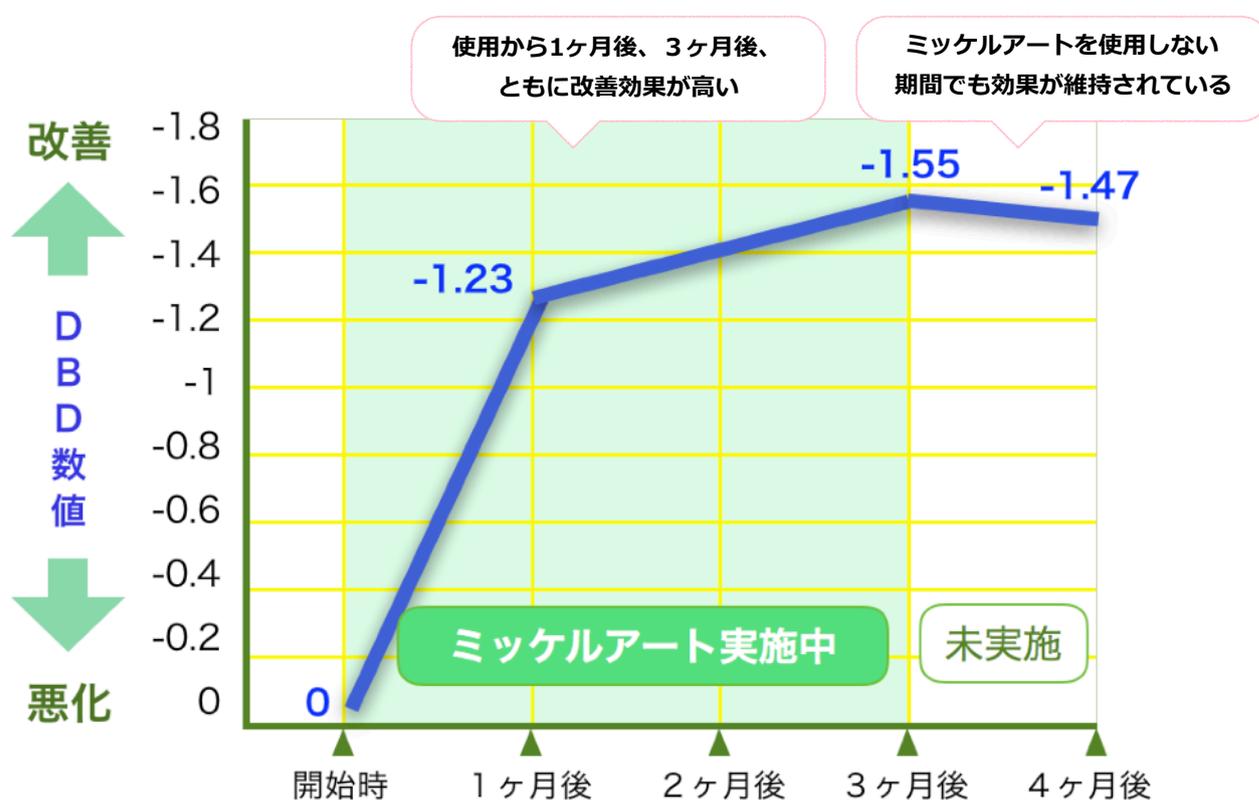


## 周辺症状の改善効果（エビデンス）

下のグラフは、ミッケルアート紙版を3ヶ月間、週2回、1回あたり20分間使用し、使用後1ヶ月はなにもしていない（ミッケルアート未使用）の状態を示したものです。認知症高齢者281名分のデータを収集しました。

このデータを分析したグラフが以下になります。グラフから、**開始1ヶ月から3ヶ月目まで周辺症状が改善している**ことがわかります。さらに、ミッケルアート紙版の**使用を1ヶ月やめてもほぼ効果が持続しています**。

結果、ミッケルアート紙版には**認知症の周辺症状改善に高い効果がある**ということが明らかになりました。



### ■ これまでの研究で明らかになっていること

- ★ 認知症の**軽度～重度**の方まで活用できます。
- ★ 認知症**予防から進行抑制**まで活用できます。
- ★ アルツハイマーや脳血管性など、**すべての認知症**に対して活用できます。
- ★ 特に**脳血管性認知症**の方は、**改善数値が高い傾向**が見られます。

# ミッケルアートの始め方

## ① まずは、スタッフ様同士で練習（ロールプレイング）をします

イラスト作成中

イラスト作成中

イラスト作成中

## ② 実際に、ご利用者様と一緒にミッケルアートをやってみましょう

イラスト作成中

イラスト作成中

イラスト作成中

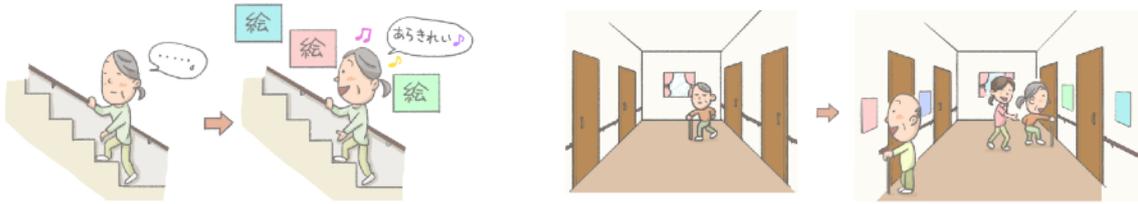
### 会話が得意なスタッフ様は、他のスタッフ様と一緒にやりましょう

会話の苦手なスタッフ様は、どのように話しかけるのか、心配なことだらけです。最初は得意なスタッフ様と一緒に同席するだけにして、場の雰囲気慣れてもらうと良いです。無理に自分で話そうしなくても良いのか、と気づくと、結構楽になります。



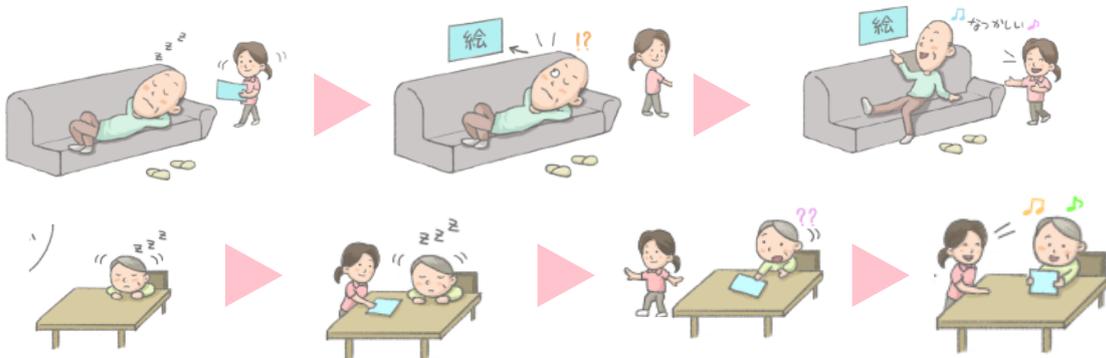
# ミッケルアートの取り入れ方

## ・廊下や階段に絵を飾り、移動しながら楽しめる空間をつくる



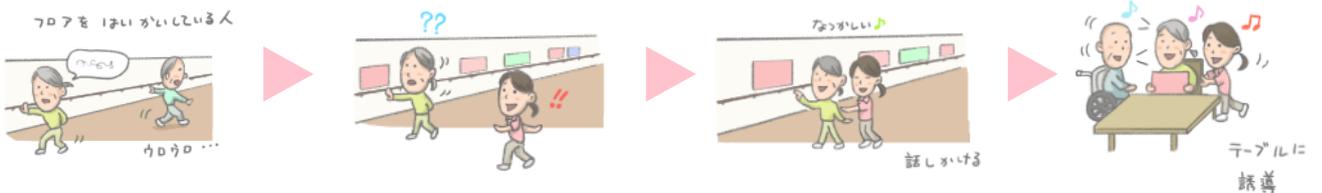
## ・普段ソファやテーブルで傾眠されている方への取り入れ方

さり気なく仮眠されている人の近くに 絵を飾り、興味を示されたときに話しかける



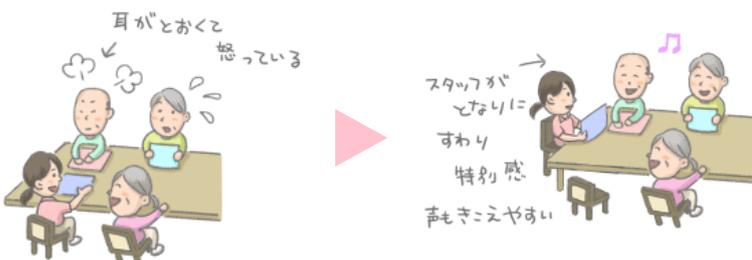
## ・徘徊されている方に、席に座っていただく方法

動線上に絵を飾ります。興味を示されたら「よかったらもう少し座ってお話し聞かせていただけますか?」と話しかけお席にお誘いする。他の利用者様も交えて、会話に入っていただく。



## ・怒りっぽい方への対応

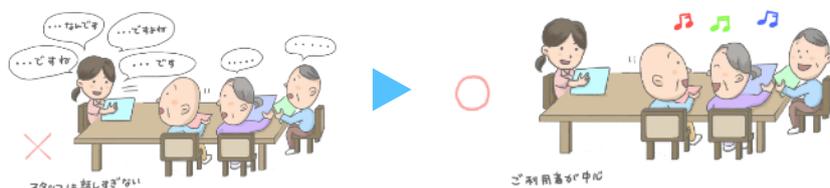
スタッフ様の座る位置によって、楽しく参加していただける場合があります。ななめ90度の席にスタッフ様が座ることで、積極的に参加されるケースがありました。この時は、「耳が遠いので、話がわからずイライラしていた」「もともと管理職の男性だったため、自分を特別扱いしてほしかった」という背景がありました。



様々な活用方法がありますが、自由に使っていただいても構いません

# スタッフ様が対応する際のポイント

- ・スタッフ様が喋るのではなく、ご利用者様が中心に話しやすい雰囲気をつくる



- ・最初から裏面の質問 STEP1、2、3を守る必要はなく自由に

→絵を見せて、ご利用者様が興味を示したものに、質問をしていく。

(例)「カエルがいる」となれば、「カエルをつかまえたことはありますか?」というように質問する。  
話が止まった時に裏面の質問を使うと良いでしょう。



- ・口数の少ない方には、最初にスタッフ自身が自分のことを話してから質問してみると答えやすい

→(例)兄弟の人数を聞くときに、まず自分の兄弟の人数を言ってから質問する。



- ・初対面の認知症のご利用者様に打ち解けるきっかけは、3回深く頭を下げて礼をする  
3回、深く礼をすると、認知症の重度の方、頑固な方、無表情の方でも、比較的リアクションをいただきやすいです。



- ・「これって何のためにやるの?」と質問される方への返し方

そういうときは、「皆さんに昭和のことを教えてもらおうと思いました。色々教えてください」というと、大体の方が納得されます。

スタッフ様は、教わる立場、利用者様は教える立場をとると、利用者様中心に話してくださるので、司会進行が楽になります。



## 🍀 よくあるご質問 🍀

### 🌻 コミュニケーションをとるための3つのポイント

Q. どのような事に心がけると、スムーズに会話を進めることができますか？

A. ポイントはこの3つです。



① 教えていただく  
という姿勢



② 利用者様の話に関心を持つ



③ 感謝を言葉と態度で示す

### 🍀 時間帯



Q. どのような時間帯にミッケルアートを活用することができますか？

A. 午後3時が最も活用されていますが、基本的には、いつでも活用できます。

- 例)
- ・帰宅願望のある方には、症状の出る前の時間帯に活用します。  
楽しくお話しすることに集中して、帰宅願望から気をそらして頂きます。
  - ・夜間に徘徊される方には、イスに座るきっかけに活用します。
  - ・何事にも無関心な方には、日中の活動内で活用します。

### 🍀 時間の長さ

Q. 「週2回、20分くらい」とありますが、必ず20分ですか？

A. 20分程度がオススメです。しかし、最初は3分だけでも慣れることを優先してください。

研究結果を分析すると、周辺症状の改善効果が高い結果が出ているためです。さらに、20分は、ご利用者の集中力が持続し、スタッフさんの人員配置がとりやすい時間であるため推奨しています。

## 場所

**Q. どのような場所で、ミッケルアートを活用することができますか？**

**A. 利用者様が落ち着いて話せる場所がオススメですが、どこでも活用できます。**

- 例) ・ 集団活動で使う場合には、テーブルに配布します。  
・ 送迎待ちでソワソワされている方には、待合室の近くで活用します。  
・ 施設内を徘徊される方には、よく立ち止まる場所に飾ります。  
・ 傾眠されている方には、机の横に置き、目が覚めた時に声がけます。

## 参加人数

**Q. 何人くらいが、ミッケルアートに参加できますか？**

**A. 1～30名以上まで幅広く活用できますが、6人1グループがオススメです。**

例) 12名参加する場合、6名1グループに分かれ、参加者に同じ種類の絵を配ります。こうすることで、参加者同士が共通の話題で盛り上がるすることができます。1グループにスタッフ様1名が望ましいでしょう。30名で実施することもできますが、参加者一人一人の変化をみるためには、グループ形式がオススメです。※6人程度のグループがオススメです、慣れるまでは少人数でやってみましょう。

## 認知症の利用者様の変化

**Q. 認知症の軽度・中度・重度の中で、どの方が一番変化を見やすいですか？**

**A. 中度の方がオススメです。**

これまでの研究によると、最も効果が表れやすい方は、介護度3～4の方です。スタッフ様がミッケルアートに使い慣れる時期は、軽度の方にご活用ください。

**重度の方にも効果が期待できますが、スタッフ様のコミュニケーション能力が必要となります。**

重度の方に使われる場合は、最初に1：1で活用します。次に、1：2で利用者様同士の馴染みの関係を作ります。最後に1：3で活用します。スタッフ様を中心に利用者様が会話をしやすい席の配置を取ることで、介護度5の方にも活用することができます。

## 認知症の種類

**Q. アルツハイマー、脳血管性など、どの種類の認知症に活用できますか？**

**A. どの種類の方にも活用できますが、特に脳血管性の方に効果が見られます。**

利用者様一人一人の状態によって反応や効果は異なりますが、ミッケルアートは幅広い症状の方に活用されています。※検証データが必要な場合、お問合せからご連絡ください。

## 🍀 暗い話への対応 (例: 戦争、ご家族の死、悪口)



**Q. 暗い話が止まらなくなった人への対応は？**

**A. 話題を変えることができない場合は、サブが聞き役になります。**

常にサブがつかない場合は、フォローができるように事前に話し合っておきます。複数の利用者様が参加されている場合、声がけを担当するスタッフ様は、常にポジティブな会話にリードします。

## 🍀 不穏になる利用者様



**Q. 普段から不穏な利用者様、または絵を見て不穏になる方への対応は？**

**A. 無理に質問せず、一緒に座っていただける時間を優先します。**

興味を持ってもらえる雰囲気を作ってから、質問をはじめます。

## 🍀 絵の内容と利用者様の育った環境が異なる場合



**Q. 「うちの近所はこうじゃなかった」と言われた時の対応は？**

**A. 「A様のご近所はどうでしたか？」と比較の質問をします。**

参加者の生活習慣が分かれば、参加者をグループに分けることができます。

## 🍀 話の終わり方



**Q. 話の終わり方はどのようにすればいいですか？**

**A. 「今日はたくさんのお話を聞かせて頂き、ありがとうございます。**

**続きはまた次回教えてください」とお礼を言います。**

🌸 **その他、ご質問などありましたらお気軽にお問合せください**



～ より良い認知症ケアを通じて、ご利用者様、ご家族様の喜びにお役立てください～